

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	サベージ・ソリッド	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：サベージ・ソリッド**

フレアーの幅  インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

PAPからピンとの距離

4-1/2 インチ

番

**比較対照ボール：サベージ・ハイブリッド**

フレアーの幅  インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

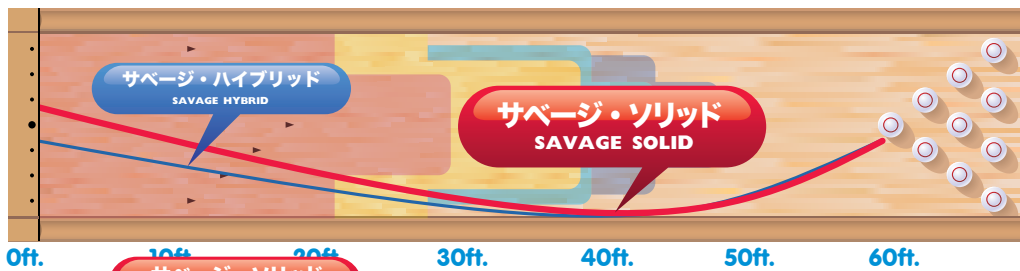
ポリッシュ

研磨剤

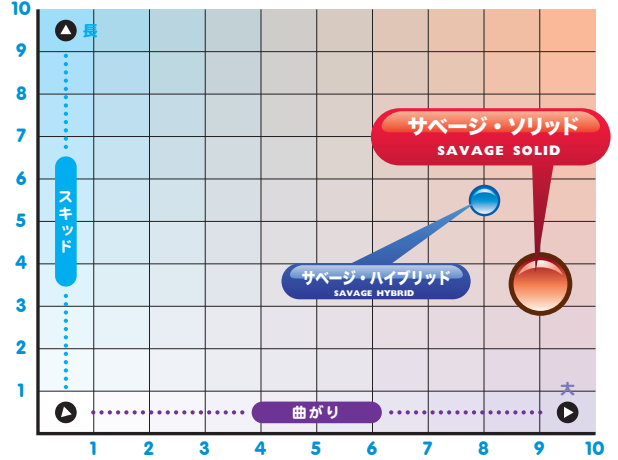
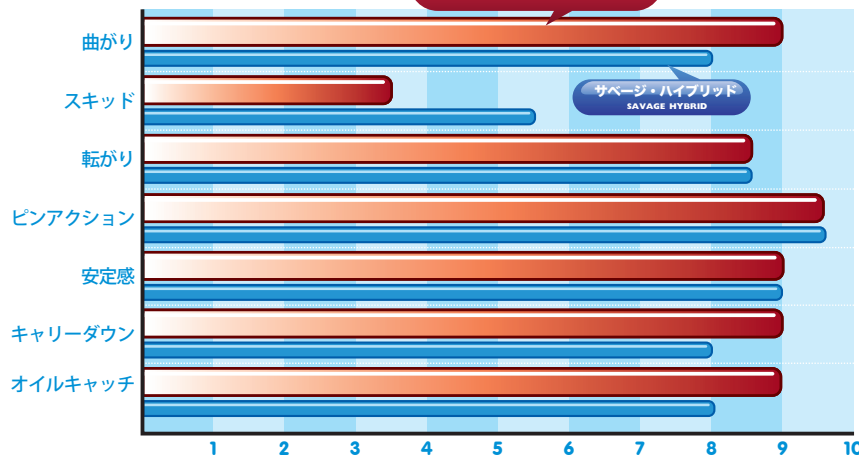
PAPからピンとの距離

4-1/2 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

今年の6月、コロムビア社から日本だけに先行発売したSAVAGE HYBRID。SAVAGEは米国では本来SOLID素材を発売するのを日本はHYBRID素材に先に発売し、現在開発中のHYBRID素材の性能の良さを知って頂くためあえての発売でした。今回のSAVAGE SOLIDは、どのボールでもオイルが多くて曲がりが出にくいコンディションで、オイルのキャッチ力と奥での動き双方を叶える、ボウラーにとっては一度は投げて性能を感じて頂きたいボールに仕上がっています。

今までのコロムビア最強はLITでしたが、このSAVAGE SOLIDと比較するとキャッチは同等ですが動き幅というよりは入射角が大きくなっていることが、オイルの多いコンディションでSAVAGE SOLIDを使用するというシュミレーションを立てることができます。やはりユーザーが求めているのは、いくらオイルに強くても曲がりメリハリ感がなく、ダラダラと曲がるボールは所詮数多くボールが発売される中でピックアップすることはないでしょう。でもオイルに強く、先での運動量が多く、ピンに絡みやすいボールならば…。それはブランドで買うのではなく、あくまでも性能の良い方を投げれば良いのです。先入観をなくしたただボールの性能だけを味わえば、SAVAGE SOLIDは今までにない性能を投げ手に与えてくれるでしょう。私の印象ではSOLID素材で先での動きがかなり明確に出ていて、入射角が深くとれるイメージがあります。LIT同様キャッチは手前からかなり強く感じるのですが、全体的な曲がりイメージがLITよりも奥で強調されている分、ピンヒットが強く感じ、攻撃的に攻める印象も強く感じます。オイルに強く先でも動きを期待するボールがユーザーにとって一番の望みのボールでしょう。

今回のSAVAGE SOLIDはスピードの速い方や回転数がやや不足がちの方に是非使用して頂きたいボールです。

### 特記事項

**コロムビア社からミディアムヘビーで最もパフォーマンスが期待できるボールの発売です。新開発のExciter SolidとHyper Shock Technologyの融合でピンキャリアにさらに磨きがかかりました。**